

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 6 月 15 日 (2017.6.15)

【公表番号】特表 2016-520057 (P2016-520057A)
 【公表日】平成 28 年 7 月 11 日 (2016.7.11)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-041
 【出願番号】特願 2016-512418 (P2016-512418)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 39/04 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 A 6 1 K 31/436 (2006.01)
 A 6 1 K 31/155 (2006.01)
 A 6 1 P 35/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/04
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 P 43/00 1 2 1
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 K 31/436
 A 6 1 K 31/155
 A 6 1 P 35/02

【手続補正書】
 【提出日】平成 29 年 5 月 2 日 (2017.5.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

mTOR 阻害剤と組み合わせた腫瘍性疾患の治療における使用のための全細胞マイコバクテリアであって、前記マイコバクテリアが非病原性熱殺菌マイコバクテリアである、マイコバクテリア。

【請求項 2】

前記マイコバクテリアが、マイコバクテリウム バッカエ (M. vaccae)、マイコバクテリウム オブエンス (M. obuense)、マイコバクテリウム パラフォツイツム (M. parafortuitum)、マイコバクテリウム オーラム (M. aurum)、マイコバクテリウム インディカス プラニイ (M. indicus pranii)、マイコバクテリウム フレイ (M. phlei) およびこれらの組み合わせから選択される、請求項 1 に記載の使用のためのマイコバクテリア。

【請求項 3】

前記マイコバクテリアがラフ型変異株である、請求項 2 に記載の使用のためのマイコバクテリア。

【請求項 4】

前記 mTOR 阻害剤が、シロリムス、エベロリムス、リダフォロリムス、テムシロリムス、またはメトホルミンおよびこれらの組み合わせから選択される、請求項 1 ~ 3 のい

れか 1 項に記載の使用のためのマイコバクテリア。

【請求項 5】

前記 m T O R 阻害剤がラパマイシン（シロリムス）である、請求項 4 に記載の使用のためのマイコバクテリア。

【請求項 6】

前記マイコバクテリアが、前記 m T O R 阻害剤の投与前、それと同時および／または後に被験者に投与される、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の使用のためのマイコバクテリア。

【請求項 7】

前記マイコバクテリアおよび／または m T O R 阻害剤が反復投与される、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の使用のためのマイコバクテリア。

【請求項 8】

前記腫瘍性疾患が、子宮癌、前立腺癌、肝臓癌、腎臓癌、肺癌、乳癌、結腸直腸癌、膵臓癌、脳腫瘍、肝細胞癌、リンパ腫、白血病、胃癌、子宮頸癌、卵巣癌、甲状腺癌、黒色腫、癌腫、頭頸部癌、皮膚癌または軟部組織肉腫である、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の使用のためのマイコバクテリア。

【請求項 9】

前記腫瘍性疾患が膵臓癌である、請求項 8 に記載の使用のためのマイコバクテリア。

【請求項 10】

前記治療が、手術可能なようにおよび／または転移形成を低減するように、癌性腫瘍のサイズを縮小する、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の使用のためのマイコバクテリア。

【請求項 11】

前記マイコバクテリアが、細胞数 $10^7 \sim 10^9$ である有効量の非病原性熱殺菌マイコバクテリアを含む単位用量中に存在する、請求項 1 ～ 10 のいずれか 1 項に記載の使用のためのマイコバクテリア。

【請求項 12】

前記マイコバクテリアが、非経口、経口、舌下、経鼻または肺経路で投与するためのものである、請求項 1 ～ 11 のいずれか 1 項に記載の使用のためのマイコバクテリア。

【請求項 13】

前記非経口経路が、皮下（subcutaneous）、皮内、皮下（subdermal）、腹腔内、静脈内または小胞体内注入から選択される、請求項 12 に記載の使用のためのマイコバクテリア。

【請求項 14】

前記マイコバクテリアが皮内経路で投与するためのものである、請求項 13 に記載の使用のためのマイコバクテリア。